



バイオテクノロジーの第二の産業化の離陸に対応して、バイオ投資の目利きをケース・スタディに基づいて行う人材開発プログラム。

慶應大学先端生命科学研究所での実習を始め、斯界のキーパーソンと議論する充実のカリキュラムをご用意。

先端研究者や有望ベンチャー、投資家、政府関係者との強固なネットワークも築けます。

第5期

(通算 22 期)

バイオインベストメントギルド (BIG)

主催：(株) 宮田総研

新型コロナ対策で世界各国の政府が資金供給したバブルの時代は終わりました。2021年まで絶好調だった米国NASDAQや日本の東証グロースになどのベンチャー市場は、今や投資ウィンドウを閉ざしています。欧米各国のインフレ退治を政策金利の急上昇とロシアのウクライナ侵攻が巻き起こした不確実性が原因です。幸い、米国の政策金利引き上げのスピードには2023年2月からブレーキがかかり、再びベンチャー企業に対して投資ウィンドウが開く時も近づいてきました。

加えて、我が国の岸田政権も大企業異存の経済成長の限界を見定め、大胆なベンチャー振興策を打ち出してきました。驚いたことに、2022年度の補正予算で経済産業省は1500億円ものベンチャー企業に対する補助金を確保、真水の資金が我が国のベンチャーにも投入される環境整備が整いつつあります。ポスト・コロナの経済復興の柱に、欧米では当たり前であったベンチャー企業振興が取り上げられるようになったのです。バイオベンチャーの起業や事業開発に対するリスクも下がりつつあります。更に、大企業においても終身雇用制度が完全に揺らぎ、若者の流動化が本格化してきました。2023年後半には先進国で景気後退が予測されていますが、不況期こそ開業率が向上し、次の時代を担うベンチャー企業誕生のチャンスが増すと期待しています。

ドラッグ・ロス。欧米先進国で認可されている新薬の約3割を我が国の患者が手にすることができない危機的な状況に我が国が瀕しています。今や世界の新薬の8割が3000社以上バイオベンチャーによって創製され、100数10社に過ぎない製薬企業は創業の主人公の座から追われています。ドラッグ・ロスの一つの重大な原因に、我が国のバイオベンチャーの起業数と新薬開発力の不足があります。この問題の根本的に解決するためにはバイオ産業や世界の未来を見通し、事業や起業を推進する目利き人材が不可欠です。

既に23年も継続している、バイオインベストメントギルドでは、今年もバイオ研究開発、投資、産業政策のキーマンを講師として招き、近未来のバイオ産業やバイオ研究を洞察する議論を参加者と展開いたします。また、創立22年目にして更に拡大しつつある鶴岡バイオクラスターにおける実習とバイオベンチャーの若き経営者との交流会も予定しています。

この機会に、貴社の有望な人材のご参加をいただき、未来を拓くバイオベンチャーのコミュニティに是非、貴社がご参加いただく契機としていただきたく、第5回BIGを案内申し上げます。



株式会社 宮田総研 代表取締役社長 宮田 満



第5期 バイオインベストメントギルド(BIG)

目的

バイオベンチャーに投資を行い、バイオ産業を成長させる投資人材を育成する。国内外のBest&Brightestの才能との連携を提供し、技術突破を実現する。

カリキュラム

1 セミナー

原則第2金曜日 18時から20時半+講師を囲んだV懇親会
単なる座学ではなく、討議を中心に展開
毎回、市場や技術に関する俯瞰的レビューと投資のリスクを解説
最先端の研究者と有望ベンチャーのキーマンを講師として招聘
講義のハンドアウトをクラウドで可能な限り提供します

2 実習 鶴岡までの往復交通費は別途負担願います、参加者は抽選で選抜)

2023年8月末、もしくは9月初めの金曜日と土曜日に山形県鶴岡市の慶應義塾先端生命科学研究所で、遺伝子操作から最先端のメタボローム解析までを体験します。初歩の初歩から説明いたしますので、まったく未経験の方でも参加できます。実際に実験して、バイオを体感することが重要です。これによって実際の技術の落とし穴を見抜く力を養います。また、最先端のバイオの講義に加えて、同研究所からスピンアウトした9社のバイオ・AIベンチャーとの交流も行います。鶴岡市が全面的に支援。新型コロナによっては開催できない場合もあります。

3 参加会員専用メーリングリスト

講義の案内や実習のオリエンテーションなどをお知らせいたします。

日程・会場

日程：

2023年7月14日(金)から開始

原則第二金曜日(8月、12月は休講)

WEB会議は18時より20時半+リモート懇親会、リアルの場合は16時から18時半

会場：

WEB会議、年3回程度のリアル・WEBのハイブリッド開催を予定

費用

1名 20万円(税別)

本プログラムの参加は企業単位で承ります。参加費用は受講生1名当たり20万円。2名参加希望の場合は40万円です。3名以上の参加は原則としてお受けできません。1名の受講生が全コースを履修することが望ましいですが、代理出席も認めております。講義代、実習費用、資料代も含んでおります。

一人が全コースを履修することが望ましいですが、代理出席も認めております。講義代、実習費用、資料代も含んでおります。

支払い方法：4ページ目の申込書をPDFでメール添付送信していただいた後、請求書を送付させていただきます。指定の口座にお振込み願います。



第5期 バイオインベストメントギルド (BIG)

2023年

7月 オリエンテーリング リアル・WEBハイブリッド・セミナー
+「バイオ産業の最新潮流」

8月 8月末、もしくは9月初めの金・土曜日に開催

鶴岡実習 (慶應義塾大学先端生命科学研究所)
バイオ実習 (メタボローム等) と鶴岡クラスターのベンチャーと交流

9月 先端ゲノム解析

(東北メディカル・メガバンク、京都大学 or Mitate Zepto Technica)

10月 再び蠢動し始めたプロテオームの技術突破

(タカラバイオ / Olink、フォーネスライフ / NEC / Somalogics)

11月 急速に進展する老化細胞治療薬の夢と現実

(東京大学、京都大学)

2024年

1月 新春、2024年のバイオベンチャー大予測

(2023年に上場したバイオベンチャー企業)

2月 再生医療の新展開

(Heartseed社、セリージュオン)

3月 mRNA 医薬の未来と限界

(クラフトン・バイオサイエンス、アクセリード)

4月 遺伝子治療の商業化第三の波

(遺伝子治療研究所、ベンチャーX社)

5月 腸内細菌創薬の挫折と復活

(メタジェン、新規ベンチャーY社)

6月 中枢疾患への新アプローチ

(Sola Bioscience、ベンチャーZ社)

第5期 バイオインベストメントギルド (BIG)

申込書 (2023年 - 2024年) 55社限定先着順

企業単位で申し込みを承ります。下記に必要事項を記入し、PDFでメール添付送信願います。

申込期限：2023年6月20日(火) 必着

送信先：manman5453@hotmail.co.jp (宮田宛て)

管理 No.VC

会社名				
所属部署				
申込者氏名	セイ 性	メイ 名		
ご住所	□□□□-□□□□			
TEL	— —	FAX	— —	
E-mail				
請求書送付方法	どちらかにチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> メール添付 <input type="checkbox"/> 郵送			
請求書送付先	会社名			
	所属部署			
	ご担当者名	セイ 性	メイ 名	
	ご住所	□□□□-□□□□		
	TEL	— —	FAX	— —
	E-mail			